





第 9 号

所 館  
行 公 民  
代 村 公 館  
電 話 一 番  
印 刷 所  
鹿島市本町6647  
南日本新聞社東部支社  
電話88,98,126番

# 平和な村づくりの礎

## 公民館活動

### 三、公民館の編成及び設備

公民館の編成及び設備は村の特殊性や資金資材の充足事情によつて異なるのでありまして必ずしも劃一的にする必要はなく、又先進地公民館に学ばなければならぬのでありますが、其の為に模倣化して獨創性を失つては、村づく

りの場としての公民館の真価を無くす

下田代村公民館の編成及び設備の実態について申述べまして村民皆様の公民館活動参加への道しるべともなれば、念ずる次第であります。

#### 一、公民館の編成(組織)

- 1. 公民館の役員

公民館長 上田 政吉  
副館長 小川 兵一  
同 主事 未 定

#### 二、公民館各部の事業

##### (1) 調査施設部

村全体の一般的実態調査、統計與論調査、資料調度品の輯録、図書館施設、村時報発行、其他弘報宣傳

(2) 教養部

#### 第十四節 (村議会議員)

上原 誠二 (村議会副議長)

篠原 亮 (田代郵便局長)

小牧 昌男 (教育民生委員長)

林 憲之 (宗教家、僧侶)

野田 テル (村婦人会長)

福留 フキ (村婦人副会長)

湯ノ谷昭典 (村青年団長)

大原 森次 (田代小PTA会長)

原沢美代二 (大原小PTA会長)

岩下 峻 (田代中PTA会長)

福留 文男 (東部振興会長)

君付 ミカ (青年学級兼任講師)

柴立 芳文 (農業協同組合長)

小川 兵一 (公民館主事)

#### 導、増産増収の確保

##### (4) 社会事業部

青少年不良化防止、托児所開設、児童福祉、失業対策、引揚者対策、未亡人会指導、生活改善

##### (5) レクリエーション部

郷土娯樂、文化大会、演芸会、音楽会、各種競技会、体育増進、健康保険

以上の各部には公民館運営審議会委員を部員として各々配置し各担当事業部を面して活動して戴くことになるのでありますが、人選問題が未解決の為未だ其の域に至つて居りません。本月の委員会では懸案の人選問題も解決し本格的な活動も初まるものと思ひます。

#### 二、公民館の設備

##### 1. 施設

公民館が公民館として機能するに充分發揮する為には事務室、図書室、講堂、談話室、

いるのであるが、現在の日本の加工業設備は、五〇万圓の能力を持ちながら年間原料の生産高は二〇万圓で全部の加工業施設を操業するならば一ヶ月足らずで消費し尽すのである日本の繊維原料は毛類にしても綿類にしても総べて外国からの輸入に待つて居るのであるが、此の原料は日本内地で栽培出来る繊維原料であり幾ら増産しても製品の売れない云々事はないのである一部にマニラ麻が輸入されるマニラは大月打出来ない云々誤解した人もあるがマニラマニラ麻は全々用途が違つたのである、マニラは織物マニラ麻はロープ類に用いられるのである。

栽培上の問題を述べると風当りの強くない肥沃な土壌を選ぶのが最も良いが必ずしも風当りでは出来ない云々肥沃な土壌でなければならぬ云々誤解ではないのである。

相当にマニラが伸びてからの暴風は早速収穫すれば良いし、収穫直後の場合は余り被害はないし若し被害があつた場合も切払つて芽摘みをすれば又すぐ発芽するので案外風の被害は少ないのである他の作物と比較して手間が掛らない作物である。植付初年目は除草に

相当に苦勞するが、二年目からは寒肥として堆肥を施し三月下旬に一、二番刈直後及び二番刈直後の三回人糞尿又は硫酸等を施す事三回の刈取りであり一回植付て置けば十一年位は改植の必要もないのである、収穫は通常三回で反当四〇〇圓位は容易である、現在買当り七五〇圓であるから反当三万円は容易に得られる訳であり、然も夏枯時に現金が還入るので有利である、適當な耕地を有する人は成る可く多く農業経営の中に折込み合理的経営を行わなければならない村は奨励施策として新植者に対しては苗代程度の補助金を交付している。

牛